

## 県議会と県民との意見交換会「あなたのそばで県議会（始良・伊佐地域）」（概要）

開催日時 平成25年8月3日(土) 13:00~15:00

開催場所 始良市文化会館（加音ホール）

参加者 一般県民136名 県議会：池畑議長他27名

内容 ①議会活動等の説明

②「第2回定例会における上海派遣研修に関する予算審議」の説明

③「あなたが考える始良・伊佐地域の振興策」について意見交換

（質疑応答等は以下のとおり）

### ○ 意見交換で出された質疑の内容

#### 県民A

上海への職員派遣研修に関して、この提案は、議会はまったく知らなかったことなのか。私の感覚で知事を昔のお殿様、君主に例えたとき、お殿様から家臣団に対して、こういうことをやりたいんだと相談があって当たり前だと思うが、知事から事前に話を聞くことはできないのか。

#### （池畑議長）

上海への職員派遣研修については、知事から、5月14日の鹿児島空港国際化促進協議会総会の席で「上海線の搭乗率が急激に落ち込み、週4便が2便になり、そしてその2便でさえ利用者が少ないと運休になる。こういう危機的な状況がしばらく続くと路線廃止につながるの、とにかく搭乗率を上げないといけない。だから、緊急避難的に県庁職員を一千名派遣する」と説明があった。

私も出席していたので、その時初めて聞いたが、他の県議会議員は翌日の新聞報道で知ることになったところである。通常、大きな県政の課題がある場合は、議会に対して「こういったことを計画し、こういうことを提案する予定である」と、事前に説明があるわけだが、今回はそれがなかったことからこの問題は始まっている。

#### （二牟礼議員）

県議会議員は知事の家臣だというような発言があったが、県議会は決して家臣団ではない。県議会は、二代表制の一翼を担う役割として、県民から選出されており、知事と対等にチェック機能を果たす、あるいは政策提言を行う立場にある。

#### 県民B

県職員の上海派遣研修の再提案に関し、派遣人数を1,000人から300人に減らしたことについて、3割程度はいいんじゃないか、使う金は税金じゃない職員の給料を下げた分であるとあったが、このことについてどのような考えをもっているか。

また、新聞によると、（知事が上海を訪問した際、）東方航空から到着後のバス送迎やホテル宿泊代費用への援助、また、着陸料の値下げや運航コスト低減への支援などを求められたとあり、県は東方航空から足下を見られていると書いてあった。

そして、知事は、地方議会のあり方としては大変おもしろかったと、県議会を馬鹿にしたような言い方もしていたが、どのような考え方を持っているか。

#### （二牟礼議員）

当初提案した予算案には（財源に）管理職手当相当額（人件費）を充てるということであった。その後、県職員派遣1,000名のうち300名は県民（民間からの募集）枠とする計画修正があったが、これは、後ほど出てきた需要に対する手立てとなり、予算上（歳出の費用は）は流用という形をとらざるを得ないという問題があった。当初提案した（人件費を充てた）予算案は撤回され、再提出された予算案（の財源）は、財政調整積立基金

が繰り入れられている。

着陸料の減免等の要求は、今後の交渉の課題であり、どのような形にしていくのかは県としての基本的な考えを持って対応すべきことだと思う。

「おもしろかったとかですね」等の知事の発言について、私ども（県民連合）は、発言の撤回を申し入れ、知事からは「今後このような誤解を招くことがないように慎重に対応する」という回答をもらったところである。きちんとした説明責任を果たすのが知事の役割であり、「議会に対しておもしろかった」、「反対の意見はない」などは言うべきことではないと考えている。

（成尾議員）

知事の職員給与の部分（関係の発言）については、私ども（公明党）も申し入れをしている。「おもしろかった」という発言に関しては、（本会議で）徹底的に質疑をした。私たちは連合審査を行い、18時間もかけ、夜中まで審議したが、その時知事はいなかったことも含め、そのような発言はとんでもないと私たち公明党は発言したところである。

## 県民C

おそらく細かい事は聞いていないかもしれないが、職員の派遣研修でちょっとおかしいのが、市場の見学が10分しかできなかったこと、また、教職員の派遣研修では、先生の夏休みがちょうど（派遣時期に）良かろうと計画したら、派遣先の上海も夏休みだったと、これでは何のために研修に行ったのかなという気がするが如何か。

（成尾議員）

訪問先の相手方が夏休みだったことについて、我が会派（公明党）は、研修の中身が煮詰まっていない段階ではおかしいんじゃないかと話をしたところである。

（二牟礼議員）

今回の研修で農業関係の職員が10分で市場を追い出されたと地元紙に記事が載っていたが、これは、事実経過を全く偽った記事だというふうに、我々としては認識している。

事前に県の方から各マスコミに対しては、現地中国（上海）から取材の許可をきちっと得るようにと文書通知と口頭説明をしていたが、許可を取らずに（一部のマスコミが）研修グループに同行し、（そのマスコミと）一緒に（研修の一行が）ガードマンから追い出されたと、いわばマスコミが原因を作ったわけであり、それを県の計画がずさんであったというような記事を掲載した。このことは、県議会の会派代表者会議が開かれるので、事実関係を求めていくことにしている。

（藤崎議員）

我が会派（自民党）も一連の新聞報道等に対して、非常に疑問を持っているところである。新聞報道とは違うことが実際の現場では起こったようであり、内容について精査し、会派代表者会議に臨みたいと思っている。

## 県民D

今回、1,000人の派遣を撤回し職員と民間を含めた300人の再提案となったが、その落としどころ、裏話等、その辺の経緯がわかっていたら教えてほしい。

（池畑議長）

何も裏の話はない。私と知事との間で共通した思いは「とにかくこの上海線を維持しなきゃいけないんだ」ということ。そして「維持するためには、今の予算案では厳しいですよ」というようなことを意見交換した。もし予算案が否決されると、路線廃止は見えていたので、知事はこのことをしっかりと受け止め、予算を撤回し、最小限の予算に見直したのではないかと考えている。

知事が提案をした予算案を撤回したということは、鹿児島県議会史上初めてのことであり、県議会では賛否の意見が色々あったけれども、議会からの色々な意見を踏まえ、最終的に知事が判断をしたわけである。

## 県民 E

研修の結果は、すぐ県民の目に見えるものではないので、東方航空の航空券を半額にするとか、鹿児島に中国の方をたくさん呼ぶという逆転の発想を是非検討するなど、目に見える経済効果を希望する。

## 県民 F

旅客運送事業は、平成11年の規制緩和後、事業者が雨後の竹の子のように全国に、爆発的に生まれ、その結果、過当競争に陥り、大半が赤字の事業となっている。供給過剰がもたらす過激な競争から設定運賃のダンピングに陥り、蟻地獄の中で競争を強いられている。

そのような中、昨年、関越自動車道で悲惨な事故が発生した。国もこれらの改善に取り組んでいるが、今、アベノミクスによる円安の結果、この1年間で燃料が平均7%上昇し、経営を圧迫している。

この現状を踏まえ、議会において公示運賃とは何かを確認し、公示運賃を見直し、適正運賃の中での発注ができるように県議会議員の力をいただきたいと思うが如何か。

### (桃木野議員)

関越自動車道の事故は、安い価格でバス業者が受注し、その結果、非常に過酷な運転業務となり事故につながったわけである。バス協会によると、昨年9月、例えば県が入札するものは、最低制限価格を設けるようにという要望をしたと聞いている。この前、観光課において鹿児島・熊本・宮崎の修学旅行のバス旅行コースを選定する、専門の方々がツアーを組んで下見に行く入札があった。国土交通省の上限、下限の定め、この範囲内という指導はあるが、下限価格の7割ぐらいで落札された。バス協会は最低制限価格設定の要望を行っているが、この落札した業者はバス協会の方であった。結局、そうはいつてもやはり仕事は取りたいと、そういう色んな心情が働いてのことではないかと思う。

先日、県交通政策課から、この要望を受け、課長補佐会議等でしっかりと周知徹底をしていきたいと連絡があったので、9月議会では所属する企画建設委員会においてしっかりと取り上げていきたいと思っている。

関連して、道路事業など構造物が見える工事については、最低制限価格は設定されているが、寄州除去、川の泥を取ったりとか、庭園の管理などについては設定されていないことから、県内各地で低価格の入札が行われた。その結果、従業員などへの賃金に影響があるということで、この件について、本会議、予算特別委員会の中で質問している。県では、平成25年度からこの最低制限価格を設けることとなっているので、また、業界の方々の意見も聞きながら、今後県議会の場でも議論していきたいと思っている。

## 県民 G

交通量、利用量の多い道路3カ所について、要望する。まず1点目は、帖佐駅から旧国道10号線までの県道松原帖佐停車場線。過去に陳情も出ているし、始良市議会でも何回も質問をしているが、補償費が高いということで、なかなか前へ進まない。始良市にある(JR)5駅の中で、中心の駅であり、通勤通学、学校も近くにあり、非常に交通量が多い、中核的な場所であるので、道路の拡幅をお願いしたい。

2点目は、川内加治木線の帖佐駅から行くとT字路に当たる米山交差点。蒲生方面から帖佐方面への右折がなかなかできず、非常に住民が困っている。そして、加治木方面から蒲生方面へ大型車両が通過する時も道幅が狭く、ぶつかってくるんじゃないかと思うぐらい危ない。

3点目は、県道十三谷重富線の森山交差点。ここもなかなか右折ができない。ここはすぐ上を九州自動車道が通っており、ボックスがあるが道路が非常に狭く交通量も多い。

この3点の道路改良は、多くの住民の要望がある。始良市議会から、いくら質問しても明確な答えが、県から返ってこない。今日は、地元議員がいるし、企画建設の委員も来ていると思うので、是非とも早期実現ができるように検討していただきたい。

(桃木野議員)

1点目の帖佐駅前件は、朝晩の通勤通学で非常に混んでいるが、道路を拡幅しようとも人家があることから、長年の懸案となっている。最近の情報として、帖佐駅から見た右側に廃屋があり、持ち主であった会社が倒産し処分困っていると始良市議会だよりに掲載していた。ここは、始良市が訴訟を起こし、3ヶ月を目安に建物の取得に動いている。また、始良駅から海側の方向70m先に都市計画道路菅原線があるが、そこまでの若干の区間について市有地を購入し、県始良・伊佐地域振興局建設部が歩道を造る計画を進めている。非常に人家が密集し補償費が嵩むということで、これまで整備が延び延びになってきたわけであるが、一部分なりともこうして解決されれば非常に良いのではないかと思う。

2点目の米山交差点件は、一昨年くらい前から交差点改良の計画があるが、結果的に地権者の同意が得られず、今日に至っている。地域振興局建設部では、法律による土地収用という強制的な方法があるけれども、一部に反対があるので、そこまではどうかということであった。用地取得はしないまでも、交差点内で、少し歩道が狭くなるかもしれないが、スムーズに流れるような方法を検討したいとのことであった。また、始良市では、帖佐駅から川内加治木線に突き当たる米山交差点の向こうへ都市計画道路を延伸し、ちょうど山田と蒲生に行く三叉路の辺にぐるっとつなぐような案を考えているようである。

3点目の森山交差点については、右折レーンがないことから非常に混んでいる。3、4年前までは予算があったが、最終的に用地の問題でうまくいかずに（予算は）無くなっている。最近、地権者の同意が得られたということで、市と県で協議が進んでいる。地元市長が地権者の所に行って（話を）まとめつつあると聞いている。これについては、一旦流れた事業ではあるが、難所の箇所でもあるので、予算化に取り組んでいきたい。高速道路下のボックスについては非常に狭いわけであるが、こういう箇所は、始良市のみならず、ほかの市町村にもあり、全県的な課題として、今後検討させていただきたいと思う。

県民H

要望を3点する。1点目、私は、県議会議員の仕事に対して、こんな夢が実現したらなあということ常々思っている。3町が新市始良市になり、総意を持ってがんばっている中に、平成27年に開催される国民文化祭鹿兒島大会がある。これも一つの夢である。開催に向け、県議会議員、始良市、知事はもっと共同しながら（やってほしい）、これは一番金のいらぬ仕事（イベント）です。逆に金が落ちてくる。

2点目、平成32年に2巡目の国体が開催される。第1回目の国体で始良地区では、どんな種目が行われ、どれだけの収穫、成果が出たのか、そういうこともしっかりと把握してほしい。

3点目は、今日のそば県のように、始良地区の市民と県議会議員、そして始良市議会議員とのコンタクトというか、つながりがほしいと思う。8.6水害から10号線はそのままである。竜ヶ水の前までは何とか計画が出ているが、それから（先は）尻切れトンボになっているのが現状だと思う。目の前の大きな課題、それを何とか県議会議員、そして市議会議員、市民が総意を持って解決する方法を模索しないと行き止まってしまふ。各党派それぞれの主張はあるが、もう少し一つになってやり遂げなきゃならない。それが夢につながるんじゃないかと思っているのでお願いしたい。

県民I

鳥獣被害に関して、長島からの帰路、5年ぐらい前までは、夜中に2頭ぐらいの鹿と出会っていたが、今は10頭、20頭と出会う。

（捕獲した鳥獣の）処理施設について、伊佐市には既にあり、阿久根でも造るとのことであるが、処理施設は各市町に最低1箇所は必要であると思う。県から処理施設に対する補助とか考えられないか。

(井上議員)

県議会では、政策立案の検討を行っているが、今年度のテーマの一つに鳥獣被害対策を

掲げ、ワーキンググループにおいて、いかに被害を受けないように追い払う、あるいは防護するかということ。そして、個体数を減らす、捕獲をどう進めるかということ。さらに、捕獲した鳥獣の後の処理をどうするかということと、3つの問題に分けて検討を進めている。処理加工施設の問題についても、どういう風に知事への政策提言、提案の中に盛り込めるか、今、検討の途中である。

新聞報道でもあったように、阿久根では、民間の方々が力を合わせ、処理加工施設の立ち上げを行っている。伊佐市では、県内に先駆けてその取組を行っているが、この問題はなかなか進んでいないというのが現状である。

鳥獣の個体数を減らすということも、非常に切実な課題ではあるが、ただ殺せ、後は埋めるんだということだけではなく、自然の恵みというか、野生鳥獣の食肉への活用が大切な課題ということで取り組んでいる。

これは野生鳥獣の食肉の利用の仕方、活用の啓発が前提にある。家庭、レストラン、あるいは旅館において、メニュー化するとか、特産品に加工して販売、流通に乗せるなど、その研究、啓発が前提にないと、前に進まないのではないかという議論を行っているところである。

各市町村に処理施設があればいいのであるが、当然予算の問題が出てくる。一気に予算の確保を提言するのではなく、その前段階の問題をどう整理するのか、現在検討している。

## 県民 I

捕ったものを埋めるだけではすまないと思う。捕った以上は食肉加工するとか、学校給食や老人ホーム関係とか、いろんなところで使う。そして、残ったものは、二次加工し、野菜と混ぜて養殖関係の飼料にすれば、全部利用できるような気がする。焼却施設の話も出ているが、二次加工して何かに変えていく仕組み、そういう施設整備を考えていただけたらありがたい。

## 県民 J

大きな企業が郊外で営業をしやすいように、大店法が改正され、その結果、どの地域においても、中小の小売店舗等が無くなっている。大型小売店舗の場合は県で、遊技場の場合は公安委員会で許認可をすることになっているが、大型店舗を造るとその周辺の道路は必ず渋滞する。企業（の立地）が先行して行政（の対策）が追っかけている。大型店舗の申請が出た場合、その条件が合いさえすれば、簡単に許可が出るものなのかお尋ねしたい。

### （まつざき議員）

以前は大型店舗面積を有するものは、許可の権限が知事にあったが、法律が改正され、規制緩和があり、現在、店舗の進出自体についての許認可は知事はできない形になっている。県に権限があるのは、地域の交通面とか、環境面とか、地域住民に迷惑がかからない形で営業するようにと、営業時間とか、駐車場の場所とか、出入り口の位置とか、そういう部分の意見を言って、それに対して店舗側が改正をする。そういうことしかできない形になっているので、全国的に問題が発生している。県議会としても何とかならないものかという思いはあるが、残念ながら限界があるというのが現状である。

## 県民 K

伊集院蒲生溝辺線の有川の件でお尋ねする。山田地区は過疎が進み、農協も撤退し、店屋は1件もなくなった。以前、サンクスに相談したが、（交通量がないと）難しいとのことであった。現在はファミリーマートができたけれども、年配の方の買い物は少し不便である。また、伊集院から空港までの道路を整備すると、伊集院から大口までの間の通勤等の交通量が増え、地域が活性化する。県議会企画建設委員会の委員に力を貸していただきたい。

### （酒匂議員）

有川工区は、現在、橋などを整備しているが、平成27、28年度頃までには、ある程度の整備が予定がされている。

(山田議員)

鹿児島県は南北約600キロ。非常に広い地域で、いろんな方々が生活をされている。その中で、たとえば離島に行けば、離島の道路を早くしてくれという意見など、それぞれの地域でそれぞれの意見がある。私は、始良地域(が選挙区)ですので、「溝辺に行くピア(橋脚)とか、1本数億円かかるようなものもあるから、それを先にして」という話が出る。地域の人たちは、自分のところを早くしてほしいと思うが、県は、例えば車が一日その道路を何台利用するかなど、ある程度の優先順位により整備している。交通事故の発生の状況などの地域の実情、課題を説明していただければ、やはり議員は自分の地域(選挙区)が大切なので、その点で努力したいと思っている。

県民L

大分県の大分市内から別府につながる道路は、片側3車線、高速道路のような道で、ゆっくり走ると怒鳴られる。それに対し、我が鹿児島は、10号線から桜島を見て車で行こうとすると、10号線が細いからゆっくり走れる。今度、その海岸が、国立公園になり、「バスが来たらどこに止まるんでしょうか」と住民がヤキモキしている。鹿児島市内から霧島方面へ行くとき始良を通るが、どうやって観光地をつなげるのか。将来を見越した場合、どこを優先して投資するのか、住民と一緒に考えてもらえればありがたい。

県民M

国道10号線の垂水・磯間の交通渋滞の解消の件について、国の管轄であるが、市民にとっては大きな関心事であり、2点ほどお尋ねする。  
1点目は、これまで、県議会は、国に対して、交通渋滞の解消について、どのような具申をしているか。  
2点目は、今後の2車線から4車線への計画・方針、また、北側バイパスの見通しについて、情報があったら教えてほしい。

(田之上議員)

県議会では、国道10号線(整備)促進の議員連盟を立ち上げ取り組んでいる。北バイパスについては、磯の浜の所をボックスルートで計画を立て、事業実施しようとしていた。ボックスを埋めるという工法はできないわけではないと思うが、ボックスルートは難しい状況である。  
議員連盟としては、国道10号線の改良について、毎年国土交通省に出向き要望している。一部狭い白浜の区間は、拡幅の事業が進んでいるが、重富からの拡幅に努力をしていきたい。

(桃木野議員)

始良の方から来たとき、2車線の道路が三船病院の下で1車線になっており、非常に困っている。  
現在、国では、西郷隆盛蘇生の家の付近から磯庭園の裏をトンネルで通す一つの計画があり、動植物の生息調査、地質調査等の委託を近いうちにするとのことであるが、海浜ボックスルートの案も、全く消えたわけではなく、検討している状況である。

(酒匂議員)

重富から磯までの整備については、以前、用地交渉の補償関係で難航し、進まない状況であった。その時、10号線の沿線の始良町、加治木町は、期成会を作り「進まない地域よりも先に始良・加治木を含めたバイパスを整備してほしい」という要望をし、先に始良・加治木のバイパスが整備された。その間、鹿児島市地域の事業は停止していたので、今、重富・磯間の整備が動き出している状況である。

## 県民N

自然環境に関する事で、現在、父親と炭焼きをやっているが、親が植えた木は大きくなり、ほったらかしで（荒廃し）、川の水は、自分が子どもの頃より5分の1になっている。木を植えると、錦江湾の魚にもよいと思うが、植林しても、増えた鹿に皮を食べられる。木を間伐しバイオ燃料にすればお金になるし、今、原子力発電所がトラブルで（による電力不足から）、一石二鳥ではないかと思う。もう少し昔に戻って、いい環境にした方がよいのではないかと思う。自分一人じゃ何もできない。みんなの力をまとめ、自然環境は守らなきゃいけないんじゃないかと思う。  
道路の問題について、「何だこりゃ」と思うぐらいの渋滞である。今、自民党も公共投資に一生懸命になっているので、この機会にやっていただけたらと思う。

## 県民O

県内市町村の国保会計が非常に危機的状況にあるのではないかと考えている。伊佐市では、法定外である一般会計からの繰り入れをし、保険税を上げても追いつかない状況である。高齢者が多いので上げるのは仕方がないのかなと考えているが、県議会として、このことをどのようにとらえ、どうすべきであるのかということを知りたい。

### （吉留議員）

国民健康保険については、新聞報道であったように、国が、運営を各市町村から都道府県に移管させ、徴収事務は今までどおり市町村でやるということを示している。これを県でやるとなると、地域で偏在があってはならないので、いろいろな問題がある。高齢化社会は進行していくので、当然、やればやるほど財政上は赤字になっていく。今後、全国知事会等でも議論されると思う。アメリカでは、公的医療保険について、メディックケアという生活保護に近い人たちの分はあるが、4千万人以上の人はない。WHOの調査では、日本の制度が一番優れているというような報告もされているので、昭和35年から築きあげてきたこの国民皆保険制度を守り抜いていくこと。そのためには、その一番の基である国民健康保険をどう運営していくか、色んな方々の意見、知恵を出す必要があると考えている。基本的には都道府県に移管されていくのだろうと考えているので、後は市町村との調整と、そして、実際の徴収をどうするかである。県が徴収すれば当然徴収率は下がる。（住民に身近な）市町村職員が対応するから支払うということもあると思うので、その役割分担をどうしていくかというのが議論になってくるかと思う。

## 県民O

県へ移管されるとしても国からの支援の部分がある。もっと国からの支援策を考えないと今の状態では（運営は）難しいと思う。県議会として、その働きかけを是非お願いしたいと思っている。

### （まつざき議員）

国保会計はどこも厳しく、保険料を上げざるをえない状況にあり、納められなくて、短期保険証、資格証明書の発行が増えている。その大きな原因というのは、以前は国が2分の1を出していたが、今は約4分の1になっている。県も、国が出さなくなった分について、負担が増えている。私は、国民皆保険を守るという立場で、国がしっかりと国庫の負担分を保障し、2分の1に戻すことが大事だと思っている。このことは会派で多少意見は違うと思うが、県民の命を守る大事な保険であるという点（意見）は一致しているので、市町村の国保会計を維持し発展させるためには、どうすればいいかということを知りたいと思う。

## 県民P

伊佐市議会では7月25日に臨時議会を開き、湧水町に計画がある民間関与の産業廃棄物処理施設の建設に反対の意見書を可決し、県に提出している。民間事業者が管理し、



処分場の排水を直接川内川に流すという問題があり、生活環境の汚染、それと風評被害が予想される。

また、大鶴湖、鶴田ダムの水質については、特にリンが環境基準をオーバーしているので、こういう施設ができると、余計悪化する。環境厚生委員会において、実態を把握し、慎重な審議をお願いしたい。

## 県民Q

一つ目は、県道川内加治木線は、川内空港線ということで、十数年前、国道に昇格させると新聞で堂々と報道されたところであるが、(工事の)進捗状況はどうなっているか。

二つ目は、寺師交差点付近であるが、ここは以前、湿地帯で路床が悪く、大型(車両)の通行により横断暗渠の両側が繰り上がった状態になっていて、大型が通るたび、付近の家は振動が激しいことから、補修をお願いしたい。

(桃木野議員)

横断暗渠の件については、現地を見て、要望にそえるよう検討したい。

空港線については、30億円の県予算がつき、昨年あたりから用地交渉も始まっている。蒲生の城山公園の下をトンネルで通し、旭橋の横を抜け、県森林技術総合センターの前に出すということになっている。約10年をかけバイパスを通すこととなっているが、出来るだけ早く完成するよう、県に対し要望していきたい。

## 県民R

始良警察署及び交通安全協会が、来年、旧始良町の方に移転する。また、工場跡地等の広い土地も空いていることから、この辺りがさびれてしまう。

鹿児島県は錦江湾マリーナ計画を調査しているようであるが、警察署跡地等の利用も考え、始良市から要望も出しているので、マリーナを是非加治木港に誘致してほしいと思っている。

県のマリーナ計画の進行状況が分かれば教えてほしい。

(桃木野議員)

マリーナの計画について、県は今年、約4千万円かけ、錦江湾を例えば、始良・霧島、垂水、根占、指宿、鹿児島港区という風に、5つのゾーンに分け、どこが適地かという調査をしている。平成26年度の初めには、どこが適地か結論を出したいということのようである。

始良警察署等は来年の3月に移転する予定であり、移転すると約1万5千坪が空き地になる。始良警察署から加治木港までは緩衝地帯があり(加治木港に隣接していないので)、跡地には、(マリーナ利用ではなく)企業誘致とか何か別なものを市では検討している。私は、県が県庁の裏に建設計画のある武道館などを誘致してはどうかと思っているが、県の計画はほぼ固まっているのではないかとのことである。

また、県道55号栗野加治木線の終点は、(国道10号線)加治木朝日町交差点で突き当たりであり、始良警察署の跡地に何かを誘致するにしても、そこから先、海岸の方に道路を造らないといけないと思う。